2008年の活動記録

大阪の高槻市にあるJT生命誌研究館の中村桂子さんに会いに行きました。とても勉強になりました。
1月

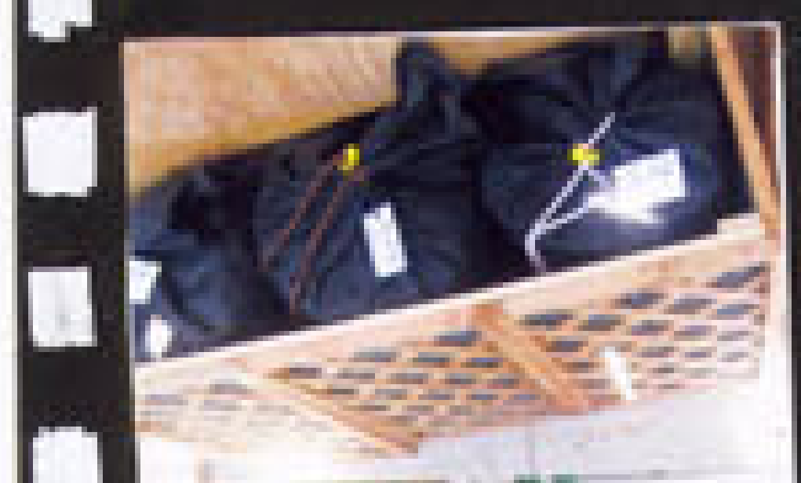
毎日小学校新聞に生ゴンクラブが記事にのる。
2月

子供エコクラブ全国フェスティバルin北九州に三重県の代表として選ばれて北九州へ行く。
3月

三重テレビ『ワクドキ元気』の取材があり3日生出演で放映される。
3月

三重県環境学習情報センターの3月度企画展示で紹介される。
3月

みんなで生ゴンの生みの親天野先生に子供エコクラブ全国フェスティバルin北九州の報告をする。
4月


それぞれの家でブラックに切りかえ順調に生ゴミ0作戦進む。
5.6月

生ゴンは、どんな生ゴミが早く消滅できて、どんな生ゴミがなかなか消滅しにくいかという実験をした。そして自由研究にまとめる。
7.8月

生ゴン自由研究が鈴鹿市の展示会に出品され1人は三重県の展示会に選ばれたよ。ヤッター
9月

生ゴミ消滅実験記録

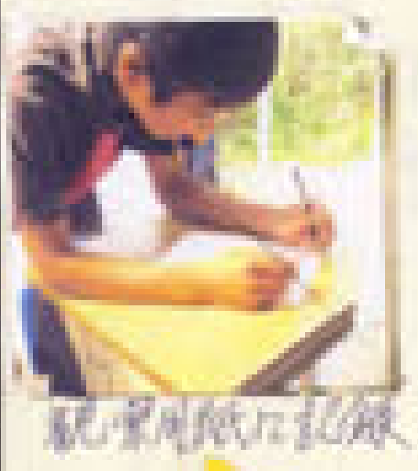
僕たちは、2007年の研究で、生ゴンはどのような環境が一番よく働いてくれるのか調べました。そして生ゴンは適度な水分と温度、空気、生ゴンの量が必要だとわかりました。そして2008年の研究では、今度はどんな生ごみが消滅しやすいかまた、ティッシュや犬のフン、雑草も入れて調べました。キャベツが一番早く、ティッシュや犬のフンも意外と早く消滅することがわかりました。この実験を自由研究にまとめ、発表しました。

実験のために雑草の準備

毎日、温度、水分を測定して、観察。

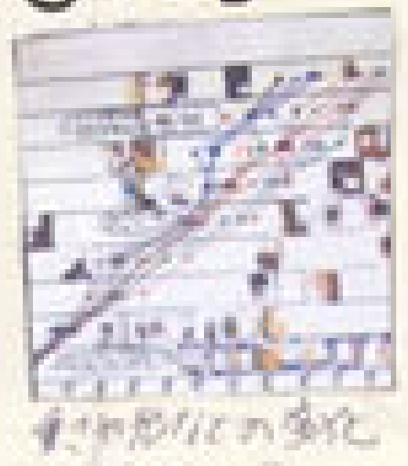
生ゴミ消滅中……

7月29日 9:30
30° 60% 晴
5
バナ
こんな感じで写真をとったよ！


観察用紙に記録

ホワイトボードにて重さ、水分、温度を記録しました。

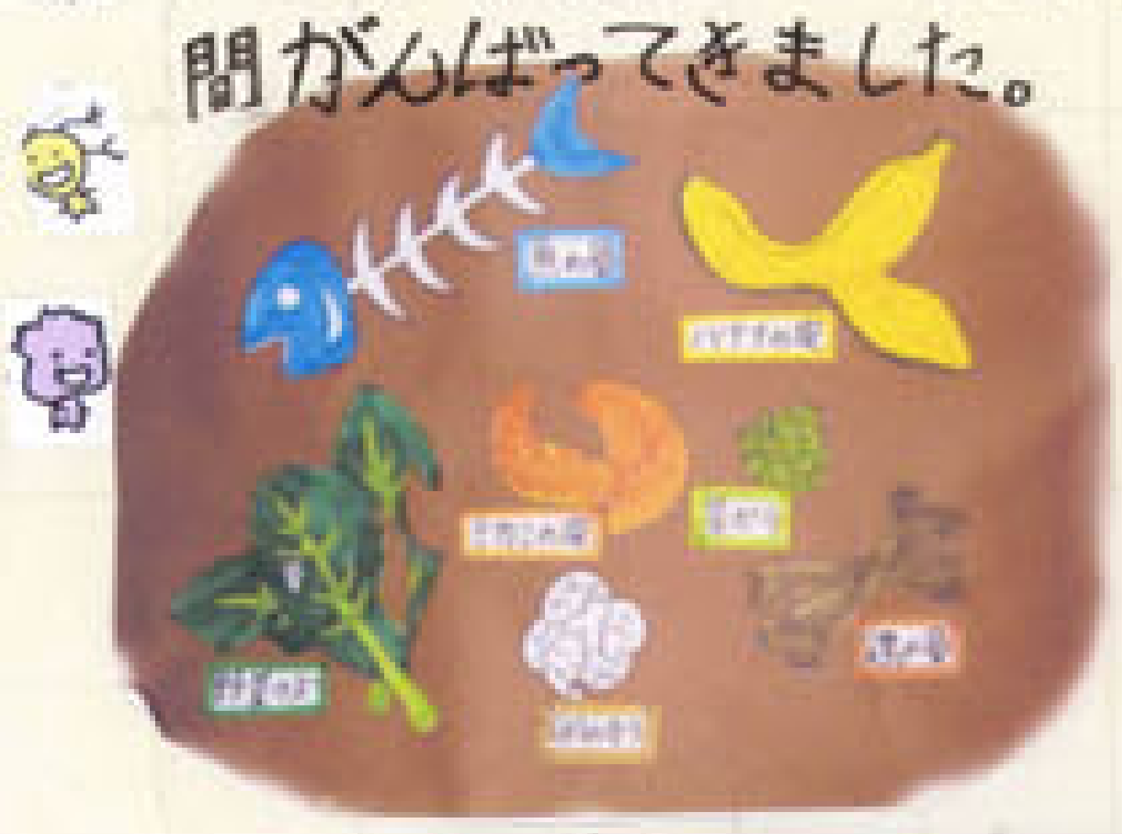
[illegible]顕微鏡なども使い観察しました。

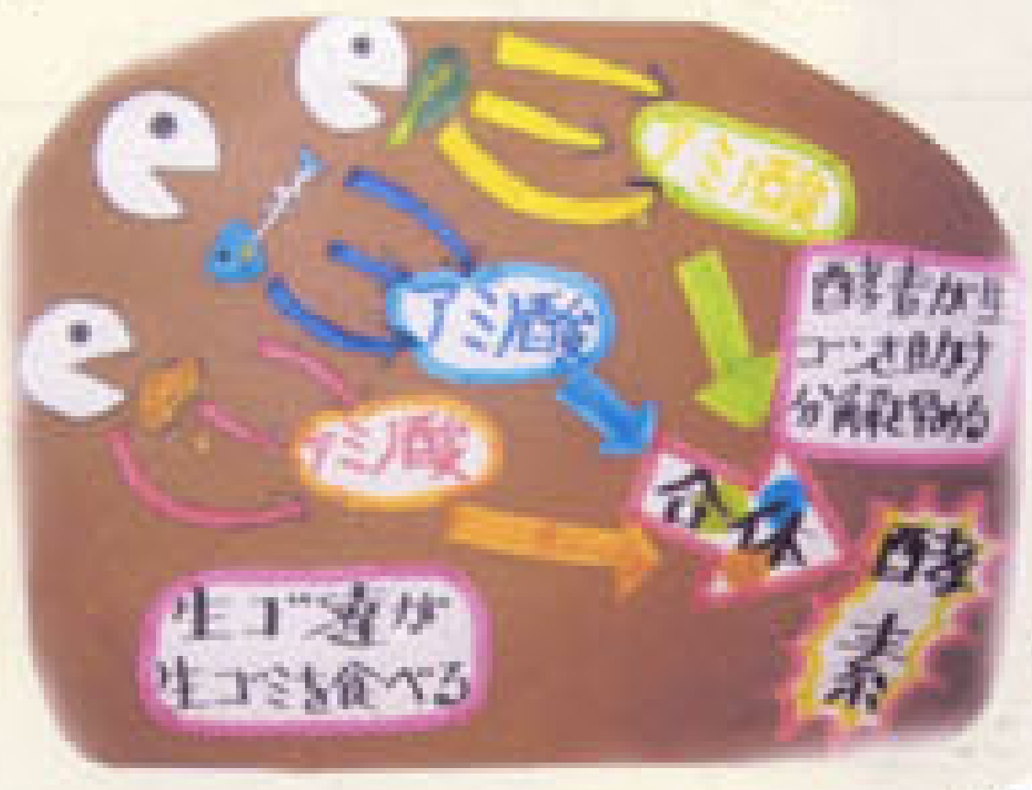

重さや温度の変化をグラフにして……

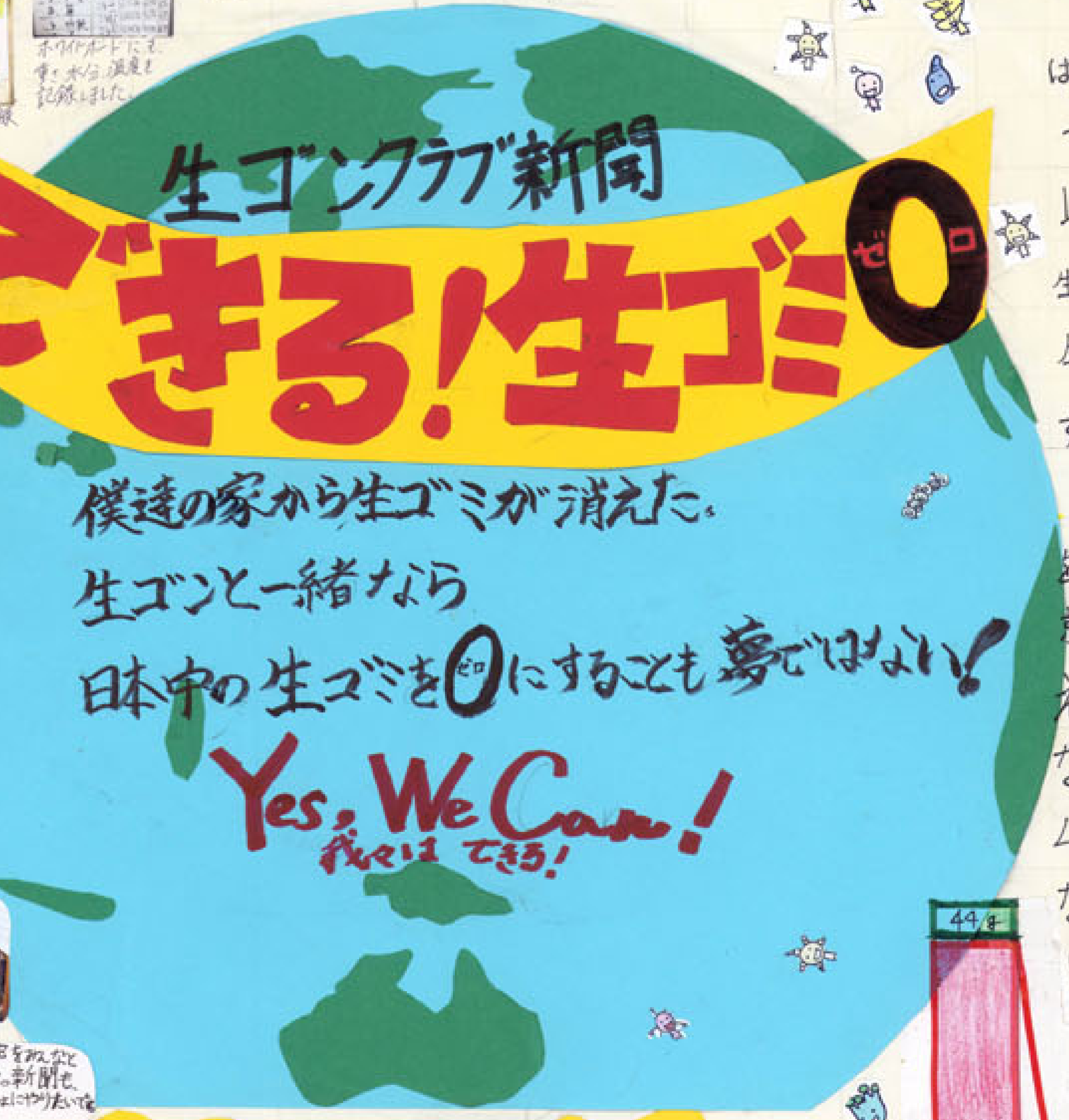
生ゴミを消滅させる生ゴンの研究
自由研究にまとめました。

生ゴンと僕達の活動

生ゴンは生命がこの地球に誕生した30億年も前から命をつないできた微生物の仲間です。生ゴンは人間の食べるものならなんでも大好き。適度な水分と空気さえあれば、みんな食べてしまうんだ。生ゴンクラブでは生ゴンを毎日やり、生ゴンと一緒に3年間がんばってきました。







生ゴンクラブ新聞

できる！生ゴミ0（ゼロ）

僕達の家から生ゴミが消えた。
生ゴンと一緒なら
日本中の生ゴミを0（ゼロ）にすることも夢ではない！

Yes, We Can!
我々はできる！

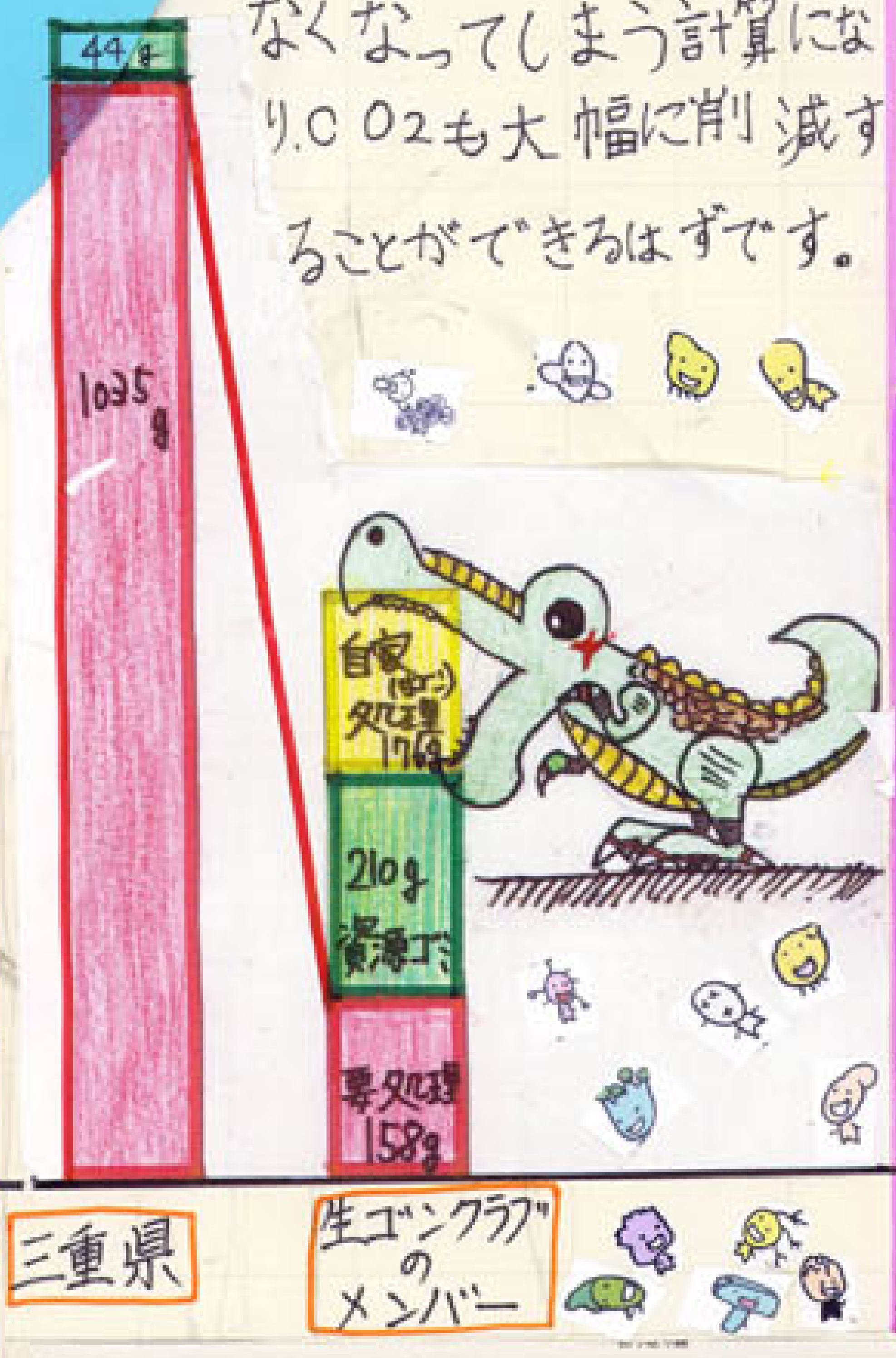
夏休み自由研究をみんなといっしょにやりました。新聞も作成した。またいっしょにやりたいです。

どの家でも生ゴンを飼えば…

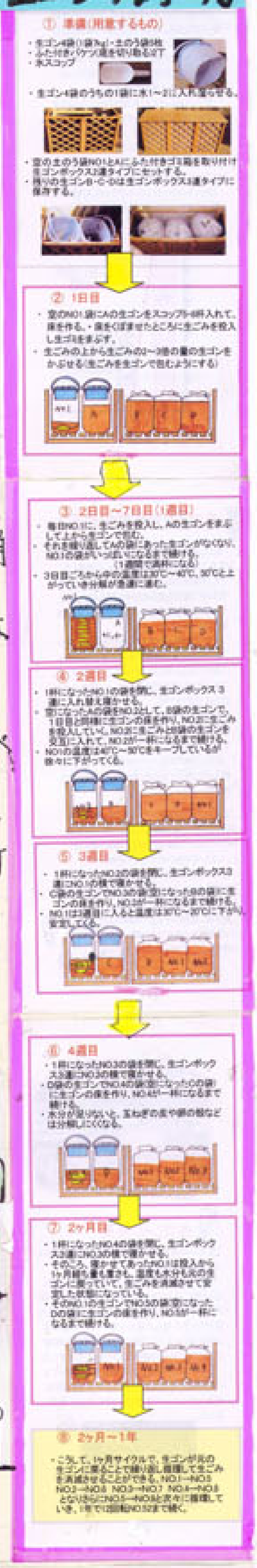
どの家でも生ゴンを飼えば清掃センターで石油を使って燃やすゴミの量が半分以下になります。

生ゴンクラブでは6人で1年間約1トンの生ごみを消すことに成功しました。

もし日本中の人が生ゴンをかうと1日2万トン＝東京ドーム160個分のゴミが消えてしまいます。1年間ではなんと720億トン＝東京ドーム5万8千個分の生ごみがなくなってしまう計算になり、CO_2も大幅に削減することができるはずです。



生ゴンの飼い方


① 準備（用意するもの）
・生ゴン4袋（1袋?kg）・土のう袋8枚
・ふた付きバケツ（底を切り取る）2T
・氷スコップ
・生ゴン4袋のうちの1袋に水1〜2ℓ入れ湿らせる。
・空の土のう袋NO.1とAにふた付きゴミ箱を取り付け生ゴンボックス2連タイプにセットする。
・残りの生ゴンB・C・Dは生ゴンボックス3連タイプに保存する。

② 1日目
・空のNO.1袋にAの生ゴンをスコップ5〜6杯入れて、床を作る。・床をくぼませたところに生ごみを投入し生ゴミをまぶす。
・生ごみの上から生ごみの2〜3倍の量の生ゴンをかぶせる（生ごみを生ゴンで包むようにする）

③ 2日目〜7日目（1週目）
・毎日NO.1に、生ごみを投入し、Aの生ゴンをまぶして上から生ゴンで包む。
・それを繰り返してAの袋にあった生ゴンがなくなり、NO.1の袋がいっぱいになるまで続ける。（1週間で満杯になる）
・3日目ごろから中の温度は30℃〜40℃、50℃と上がっていき分解が急速に進む。

④ 2週目
・1杯になったNO.1の袋を閉じ、生ゴンボックス3連に入れ替え寝かせる。
・空になったAの袋をNO.2として、Bの袋の生ゴンで、1日目と同様に生ゴンの床を作り、NO.2に生ごみを投入していく。NO.2に生ごみとB袋の生ゴンを交互に入れて、NO.2が一杯になるまで続ける。
・NO.1の温度は40℃〜50℃をキープしているが徐々に下がってくる。

⑤ 3週目
・1杯になったNO.2の袋を閉じ、生ゴンボックス3連にNO.1の横で寝かせる。
・C袋の生ゴンでNO.3の袋（空になったBの袋）に生ゴンの床を作り、NO.3が一杯になるまで続ける。
・NO.1は3週目に入ると温度は30℃〜20℃に下がり、安定してくる。

⑥ 4週目
・1杯になったNO.3の袋を閉じ、生ゴンボックス3連にNO.3の横で寝かせる。
・D袋の生ゴンでNO.4の袋（空になったCの袋）に生ゴンの床を作り、NO.4が一杯になるまで続ける。
・水分が足りないと、玉ねぎの皮や卵の殻などは分解しにくくなる。

⑦ 2ヶ月目
・1杯になったNO.4の袋を閉じ、生ゴンボックス3連にNO.3の横で寝かせる。
・そのころ、寝かせてあったNO.1は投入から1ヶ月経ち量も減り、温度も水分も元の生ゴンに戻っていて、生ごみを消滅させて安定した状態になっている。
・そのNO.1の生ゴンでNO.5の袋（空になったDの袋）に生ゴンの床を作り、NO.5が一杯になるまで続ける。

⑧ 2ヶ月〜1年
・こうして、1ヶ月サイクルで、生ゴンが元の生ゴンに戻ることで繰り返し循環して生ごみを消滅させることができる。NO.1→NO.5 NO.2→NO.6 NO.3→NO.7 NO.4→NO.8となりさらにNO.5→NO.9と次々に循環していき、1年で12回転NO.52まで続く。

生ゴンクラブの仲間達

始めは、環境問題というより生ゴミが消えるそのしくみについて興味を持った。やっていくうちに、環境の大切さについて知り、もっと生ゴンを皆に知ってもらおうという思いになった。やればできる!! Yes We Can

おうちの人から 生ゴンに生ゴミを入れ消滅させているので燃やせるゴミは紙類だけなので手間がはぶけて助かっています。生ゴミを[illegible]事は将来において大事な事だと思います。時々忘れたりする事もあるけど、毎日生ゴミは出るので、常に考える材料がたくさんあり良い事だと思います。
母より

地球・環境について暮らしの中で関われることが、とても大きいと思う。時々忘れてしまうこともあるがやり続けるということも本人にとって良い勉強になります。身を持って体験することで一人の人として[illegible]、いろんなものが培われていると感じました。 おうちの人から
父より

ぼくが生ゴンクラブに入った理由は、みんながやっていてぼくも生ゴンをやりたくなったからです。生ゴンをやっているうちにいろいろなことがわかってきました。たとえば、古い食用アブラを生ゴンにまぜたら生ゴンの[illegible]ことがわかりました。

ぼくが生ゴンをしようと思ったのは皆がやっていて楽しそうだから[illegible]いろいろなイベント、テレビの取材や新聞の取材など[illegible]北九州へ行けて[illegible]よかったので今後は[illegible]です

おうちの人から
うちは家族が多いので一日に出る生ゴミがかなり多いのですが生ゴンを始めてから、ほぼ全部生ゴンへ行くので燃えるゴミの量がぐんと減り、生ゴミがなくなったので[illegible]。[illegible]が自主的に[illegible]もってやっているのでこちらは生ゴン専用バケツに入れるだけ。こんなに簡単にエコができるなんて生ゴンと生ゴンクラブに感謝です。
父母より

おうちの人から
生ゴンは不思議だなぁと思っています。なんできれいに分解できるのか。
生ゴンの世話も楽しんでやってくれるなら、それでいいです。
母より

ぼくはなぜ生ゴンは生ゴミを消すことができるのか知りたくて生ゴンクラブに入り、北九州に行ったり自由研究がえらばれたりいろんなことがあり楽しかったです。
これからもがんばっていきたいと思います。

僕は、1回生ゴンをやるのを忘れてて生ゴンを母さんにとられてしまったこともあるけど、世界の皆が生ゴンをやり1人1人がちょっとずつ気をつけていけば地球温暖化は防げる!!

おうちの人から 家で生ゴンをやりはじめて約2年。かびさせたり、虫を発生させたり、いろいろ『事件』を起こしながらも、今や我が家では生ゴンのない生活は考えられない程どっかり定着しています。生ゴミは[illegible]なので職場で生ゴミがでると[illegible]ついつい「それ下さい」と、もらってしまうくせがついてしまいました。という具合にうちは私も興味があるので2人3脚で生ゴン生活を送っている感があります。
母より

おうちの人から
生活の中でだんだん積極的に生ゴミゼロの活動をするようになった。これからも地球の役に立つことを実行できる人になってください。
母より

ぼくが生ゴンクラブに入った理由は[illegible]自由研究などを[illegible]これからもがんばりたいです。

こどもエコクラブ全国フェスティバル	クラブ所在地 三重 都道府[✓ 県] 鈴鹿 [✓ 市]区町村
（全国事務局使用欄 記入しないでください）	クラブ名 生ゴンクラブ